【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第５部門第２区分
【発行日】平成21年10月8日(2009.10.8)

【公開番号】特開2009-24741(P2009-24741A)
【公開日】平成21年2月5日(2009.2.5)
【年通号数】公開・登録公報2009-005
【出願番号】特願2007-186554(P2007-186554)
【国際特許分類】
Ｆ１６Ｄ　41/20　(2006.01)
Ｆ１６Ｄ　41/06　(2006.01)
Ｅ０６Ｂ　9/322　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｆ１６Ｄ　41/20　Ｚ
Ｆ１６Ｄ　41/06　Ｚ
Ｅ０６Ｂ　9/322

【手続補正書】
【提出日】平成21年8月25日(2009.8.25)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２１】
図４は、スプラグ式の噛み込み機構式一方向クラッチ機構であり、スプラグ３８が保持具４０によって一定間隔で保持され、ばね体４２により、スプラグ３８が回転部材３０の内径面と非回転部材８の外周面に接触するように付勢されている。ここで、回転部材３０が図４中、時計方向に回転すると、回転部材３０とスプラグ３８との接触圧及びスプラグ３８と非回転部材８との接触圧によってスプラグ３８は起立方向に回転し、径寸法が大きくなる為、回転部材３０とスプラグ３８との接触圧及びスプラグ３８と非回転部材８との接触圧が大きくなり、回転部材３０は非回転部材８に対して回転方向にロックされる。又、回転部材３０が図４中、反時計方向に回転すると、回転部材３０とスプラグ３８との接触圧及びスプラグ３８と非回転部材８との接触圧によってスプラグ３８は倒れる方向に回転し、径方向寸法が小さくなる為、回転部材３０とスプラグ３８との接触圧及びスプラグ３８と非回転部材８との接触圧が小さくなり、回転部材３０は非回転部材８に対して回転方向にフリー状態となり、回転伝達が遮断される。